

高分子膜開発販売

セパシグマに出資

ドーガンが1千万円

ファンド運営会社のドーガン・インベストメンツ(福岡市)は二十二日、同社が運営を手掛けるベンチャーファンド「チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド」が、九月末に北九州市の高分子膜開発・販売会社「セパシグマ」に一千万円を出資したことを明らかにした。

同ファンドは総額十億円で、九州の中小企業向けに二〇〇六年四月に九電工(同)と中小企業基盤整備機構が設立。今年九月からは、西日本シティ銀行(同)と同行の連結子会社も出資。これまで、四社のベンチャー企業に計一億一千五百万円を投資している。

ドーガン社の林龍平取締役によると、セパシグマは医薬品を製造する際、余分なウイルスなどを除去するための膜を開発。他分野での応用の可能性もあり、同社が上場も視野に入れていることから、今後の成長を見込んで出資したという。